

難波正吾 総合計画後期基本計画の策定に当たって

問 今後、防災意識の向上にどう努めるのか。また、福島原発の事故は、自然災害による事故ではなく、市民団体や日本共産党が警告してきたにもかかわらず改善を拒み続けてきた結果、起きた人災である。市の自然エネルギー活用の具体的構想はどうか。

答 積極的に地元にも出向いて、有事の際の緊急連絡網、また、防災に対する考え方の説明をしたい。(総務部長)

答 代替エネルギーを考えることも、これからの基礎自治体の大変重要な役割になると思う。しかし、市の財政を考えると、実績・成果のないものを実施するわけにはいかない。今のところ、太陽光が有効だというふうには思っている。(市長)

市職員の労働条件、雇用形態について

問 正規、嘱託、臨時職員の構成比率はどうか。また、非正規職員の労働条件の改善、格差是正が必要ではないか。

答 嘱託136名、臨時282名で職員全体の43%になる。嘱託職員、臨時職員全員に市政の大方針を共有してもらおう。勉強会をしようと思う。各部各課においても、みんなで話し合う。



職員が撮影した被災地

し合う。これが格差是正の議論だと思う。(市長)

小西義巳 一丁ぐる古墳について

問 サントピア岡山総社付近の古墳群について、総社市として今後、どのような方向へもっていくのか。

答 一丁ぐる古墳は、前方後方墳で四世紀前半の古墳だ。川西地方を治めていたであろう豪族の墓であり、未盗掘部分や多くのミステリーを含んでおり、市教育委員会が市の

史跡に指定、発掘調査を行う。その際には、県の教育委員会とも連携する。古代吉備王国の名を全国的に発信できるものであり、歴史的価値が高い。サントピアの観光資源としても期待をしている。(市長)

問 総社市文化財保護審議会の答申どおり、名称を「一丁ぐる古墳群」とされたい。

答 「一丁ぐる古墳群」については、戦前に編集された「吉備郡史」に記載をされて

いる。審議会では「指定に値する」との答申が出され、教育委員会でも「一丁ぐる古墳群」として決定し、告示の予定である。(教育長)

問 一丁ぐる古墳群をはじめ、麻佐岐神社、正木山、そしてサントピアに通じる山道の整備は考えられないか。

答 修復の必要な箇所がかなりあり、今後、地元土木担当員とも相談しながら、修繕を加えていきたい。(市長)



一丁ぐる古墳群

笠原武士 市長の政治姿勢について

問 ①今年10月の市長選挙に2期目の出馬予定はあるか。②前回選挙での公約は、どの程度達成されたか数字で明示を。③市長は、国と比較して岡山県とのパイプが細いと言われるが、今後の対応はどうするか。④市長の言う地域主義政治は、ともすると大衆迎合主義、バラマキ主義につながる

がりやすいと思う。この区別をどう考えるか。

答 ①今の心境はまだまだ総社を変えたい。まだまだ全国一、岡山県15市ナンバワンを目指したい。そのために2期目の選挙に出馬させていたきたい。②達成度は私の体感温度で言うと60点だ。③総社市の身体障がい者のための施策、デマンド交通を充実させるための分野に、県の優秀な方を迎える研究をしている。

危機管理体制について

問 何が一番大切か。

答 命を守ること。有事の際は常識と法律にとらわれないことである。(市長)



防災機能を備えた常盤公園

大熊公平 自然エネルギーの地産地消について

問 福島原子力発電所の事故から3か月が過ぎた。原発の「安全神話」はもろくも崩れ、レベル7、チェルノブイリ原発事故に匹敵する最悪の状況が今でも続いている。原子力発電についての見解と、新たに建設予定の山口県上関原発についての見解を求めます。

自然エネルギーの普及について

問 事故を起こした原発はよくないが、その果たす割合から、すべてを否定するわけにはいかない。新たに原発建設はできないだろう。(市長)

問 原発に替わる代替エネルギー(再生可能なエネルギー)にシフトすべきだと考えるがどうか。国においても「全量固定価格買取制度の法

制化」と発送電分離、スマートグリッドの議論が行われているが、地方から声を上げるべきだと考えるがどうか。

答 持続性のある再生可能エネルギーとして、この地域では太陽光発電が最もふさわしいと考える。普及については、現行の補助を維持しながら新たな試みを検討する。全額買取りは国策として取り組んでもらいたいので、大いに国に働き掛けていきたい。(市長)



保健センター屋上にある太陽光発電